

現在、好生館では、当館で保管する検体・診療情報等を使って研究を実施しています。この研究は倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、実施しています。

研究の詳細についてお知りになりたい、またはこの研究に対して利用・提供してほしくないと
思われた際には、好生館の問い合わせ担当者までご連絡ください。

【研究課題名】免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常に対するプロトコルに基づく薬物管理（PBPM）の有用性と医師からの評価
【研究対象者】 2019 年から 2024 年までの間に当館で免疫チェックポイント阻害薬（オプジーボ、キイトルーダ、バベンチオ、イミフィンジ、テセントリク）の投与を受けた患者様
【利用している検体・診療情報等の項目】 〔診療情報等〕甲状腺刺激ホルモン（TSH）、遊離甲状腺ホルモン（FT4）の検査オーダーの有無・検査結果、癌種
【利用の目的】 当館において、薬剤師による免疫チェックポイント阻害薬投与患者に TSH,FT4 の代行入力を行う PBPM を実施しているが、この PBPM の導入前後での検査率の変化や代行入力により甲状腺機能異常を発見できているかを調査するため
【研究について】 遺伝子解析研究 （有 ・ 無） 営利企業との共同 （有 ・ 無）
【利用期間】 倫理委員会承認日～2027 年 3 月までの間
【佐賀県医療センター好生館 研究責任者及び問い合わせ担当者】 研 究 責 任 者：薬剤部 黒部健太郎 問い合わせ担当者：薬剤部 黒部健太郎 対 応 可 能 時 間： 平日 9 時 ～ 16 時 電 話 ： 0952-24-2171（代表） E メール： rinsho@koseikan.jp（臨床試験推進部）